



学校便り 琢磨

令和5年度 第9号 R5.7.3 三豊市立詫間小学校

第52回たくま港まつり —こども総踊りへの参加について—

4年ぶりに「たくま港まつり」が開催されることとなり、詫間町内の幼稚園・保育所と小学校1～3年生の児童を対象とした「こども総踊り」も行われることとなりました。

詳しいことについては、後日、1～3年生の保護者の皆様に、児童の参加についてのお知らせ及び参加希望調査をお配りいたしますので、ご確認ください。

【第52回たくま港まつり —こども総踊り—】

日 時…令和5年8月12日(土) 17:15 詫間小プール横に集合

18:00 野球場（総踊り会場）or 詫間小プール横で解散

服 装…体操服、バンダナ（事前に学校からお渡しします。）

その他…①保護者の方の駐車場は、小学校運動場です。（事前に専用駐車券をお渡しします。）

②踊りの練習は、学校の授業中に行います。（当日参加できない児童も練習はします。）

③荒天の場合は、中止になります。

④幼稚園・保育所のこども総踊りは、小学生の前（17:30～17:40）に行います。

教職員の赴任について

7月1日付で、詫間小学校の給食調理場に、小川 麻実 調理員が赴任いたしました。本日から、勤務を開始しております。よろしくお願いたします。

6月の行事から

紙面の都合で、全ての行事等の紹介はできません。本校のホームページのブログには、日々の行事や授業風景、教室掲示作品、給食のメニューなどをアップしています。また、「〇月〇日の写真集」では、ブログで紹介した写真をPDFファイルで掲載していますので、ぜひ、ホームページもご覧いただけたら幸いです。



6月の体育集会は、8の字
なわとびをしました。



芝生広場の石拾い・草抜きボラ
ンティアに参加してくれてありが
とう！

昼休みに、クリ
ステン先生と
英語で遊ぶ「英
語広場」をして
います。



真鍋校長の独り言 その4

私の自慢大会（小学校1年生）

本校の校庭には「雲梯（うんてい）」という遊具はありませんが、私が通っていた小学校の運動場には、右の写真と同じような「うんてい」がありました。

皆さん、きっと一度は、やった経験があると思いますので遊び方の説明は省略しますが、まず、片手でぶら下がることができなければ、前に進むことができません。そして、真ん中が高くなっているのです、体を振って勢いをつけ、右手、左手と交互に握り変えて体を進めていかなければ、はしからはしまで渡ることができません。さらに、握力（あくりょく）も必要です。うまく進んでいても、握りしめる力が途中で尽きてしまったら落下ということになってしまいます。



私は、小学校1年生の体育の時間に、初めてこの「うんてい」の遊び方を習いました。担任の先生に指名されて、お手本を、私の友達がやって見せました。その友達は、それこそ「お猿さん」のように、すいすいとはしからはしまで渡り切ってしまったのです。40人くらいのクラスの中で、この「うんてい」ができるのは、その時は、その子一人でした。拍手喝采でした。少し照れくさそうな笑顔を振りまく友達の姿を見ていて、私は、その友達のように、この「うんてい」のはしからはしまで渡り切りたいと強く思ったのでした。

まずは、両手でぶら下がります。これは、簡単にできました。次に、体を振って、体が前に出た時に片手を離して次の棒をつかむのですが、これがなかなか大変でした。小学校1年生にしたなら、けっこうな高さです。片手を離すのがこわくて仕方ありませんでした。1日目にできたのは、2つ目の棒をつかむところまででした。

それから、体育の時間も休み時間も放課後（一度家に帰ってからまた学校に遊びに行く）も、私は「うんてい」の練習を夢中でしました。実は、手にまめができ、それがつぶれて痛くて、1つ目の棒にぶら下がることさえできない日もありました。でも私が見ていたのは、最後の棒に手がかかって「やった！」とさげんでいる自分の姿だけでした。

何日か経ち5つ目まで行くことができました。それからまた何日か経ち、真ん中まで行くことができました。でも、まだ半分でした。真ん中まで行けば下りになるので、少しは楽かと思っただけでしたが、今度は、握力が持たないのです。真ん中までも行けないこともあり、真ん中を過ぎて2つ目まで行けたこともありました。まさに「3歩進んで2歩下がる」です。

何日、いや、何週間か経ったある日の夕方、とうとう最後まで渡り切ることができたのです。とてもうれしくて、うれしくて「やったー！やったー！」と叫びながら飛び跳ねましたが、その場には私以外、誰もいませんでした。私は、家に走って帰り、夕飯の支度を始めた母親に「うんていが、できたから見て。担任の先生も、まだ学校におるかな？おったら見てほしい。」と、無理を言いました。「今度の日曜日に。」と言う母親に、私は泣いて頼んで、母親の自転車の後ろに乗って、薄暗くなった学校の運動場に行きました。母親も職員室まで行って、担任の先生に事情を話して、「うんてい」の所まで来ていただきました。

さあ、一番見てほしい2人を前に、私の「自慢大会」が始まりました。すいすいと体を進めていたのですが、真ん中を過ぎた辺りから手が滑るようになって、ぱたんと落下してしまいました。もう一回、もう一回と繰り返し挑戦したのですが、何度やっても真ん中過ぎまでしか行くことができませんでした。いや、3回目からは、疲れて真ん中までも行けなくなってしまいました。泣きながら「さっきは、できたんで！」と言う私に、母親も担任の先生も「よくがんばったね。真ん中以上行けたからすごいよ。」と誉めてくれました。でも、私は、「失敗した！」という思いしかありませんでした。その後、「うんてい」をしたかどうかは、全く覚えていません。

これが、私の小学校1年生の時の「自慢大会」の思い出です。